

第4回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会会議録

開催日時	平成19年11月29日(木) 午後2時～ 午後3時30分
開催場所	市民会館研修室
出席者 (9名)	鳴川 東、藤澤 泰子、樋口 豊子 土屋 輝雄、安田 吉一、柄澤 暢吉 乙幡 英次、内野 好江、瀬谷 智子
欠席者 (5名)	林 喜代三、石井 裕光、榎谷 雅弘 荒幡 善政、比留間久仁男、荒幡 耕司
傍聴者 (0名)	
事務局	鈴木主査、木村
配布資料	*第3回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会会議録 *生ごみ資源化施設状況について *生ごみリサイクル技術について
議題	1 生ごみ資源化施設状況について 2 生ごみのリサイクル技術について 3 その他

<p>会議要旨</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●座長 <p>それでは、これより第4回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会を開催させていただきます。</p> <p>本日の出席委員は、<u>9名</u>で定足数に達しておりますことを委員の皆様にお知らせします。</p> <p>なお、欠席委員は、<u>林委員</u>ほか4名であります。</p> <p>それでは、議題に入ります前に配布資料の確認につきまして、事務局より説明をお願いします。</p> ● 事務局 <p>それでは、お手元に配布いたしました資料につきまして、確認させていただきますと思います。</p> <p>資料の確認を行う。</p> ● 各委員 <p>異議なし。</p> ● 座長 <p>それでは、議題（1）の「生ごみ資源化施設状況について」に入ります。事務局より報告いたします。</p> ● 事務局 <p>資料の確認と議題（1）報告を行う。</p> ● 座長 <p>ただ今、議題（1）の報告が事務局よりありましたが、これについて質疑等がございましたら、お受けいたします。</p> ● 委員 <p>前回視察した東村山市の民間施設では飼料化を行っていましたが、今回視察を行ったところ現在は、飼料化ではなく堆肥化を行っています。前回と違い臭いがなく肥料化されたものは、さらさらしていました。また、堆肥したものは、市にもどるシステムになっているということです。</p> <p>メタン発酵については、かつて事業者が家庭ごみを日野市で行っていたが、いまは行っていないと思われます。</p> <p>また、比留間運送の施設を見学しましたが、人口土壌されたものは「畑」では利用できないため、東村山市方式が良いのではないかと。立川市では、リサイクルセンターで堆肥化を行っていて市民が利用し好評である、作るだけでは農家で利用できる品物を作らないと困ってしまうのではないかと。</p> ●座長 <p>委員からの質疑に対しての答弁をお願いいたします。</p>
-------------	---

	<p>●事務局 堆肥を作ることよりもどのように利用するかが大切である。 リサイクルでは循環型が理想である。</p> <p>●座長 他に質疑等ございませんか。</p> <p>● 委員 木のチップを使って堆肥化を行なっている業者があり、自宅で試してみたところ良かったが、やはりリサイクル品を使うことが初めは心配である。</p> <p>● 委員 堆肥を使って庭で利用しているが、なかなか実がならず研究所で土壌を調べたところ「窒素分」が多すぎるのがわかった。</p> <p>● 座長 他に質疑等ございますか。</p> <p>● 委員 ガス化施設について残渣物がどのくらい出るか、どのくらい日数がかかるか。</p> <p>●座長 委員からの質疑に対しての答弁をお願いいたします。</p> <p>● 事務局 ガス化施設では、残渣物はほとんど出ないと聞いています。 また、日数については約2・3ヶ月かかります。</p> <p>● 委員 市内での生ごみ排出量はどのくらいですか。</p> <p>● 事務局 可燃ごみは、年間7,224,840kgで一人年間約105kgが排出されています。内訳は「組成分析結果では可燃ごみの約55パーセントが生ごみのため、平成18年度可燃ごみ排出量13,149,650kgの55パーセントを生ごみと推測しました。</p> <p>●座長 他に質疑等ございますか。 それでは、議題(2)の「生ごみのリサイクル技術について」に入ります。事務局より報告いたします。</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務局 議題(2)報告を行う。 ● 座長 ただ今、議題（2）の報告が事務局よりありましたが、これについて質疑等がございましたら、お受けいたします。 ● 委員 生ごみを堆肥化するのに分別の徹底がどのくらいできるか、また、資源化できないものが、混入した場合どうなるのか。 ● 事務局 肥料化や飼料化したものを、利用するために品質管理を保つことが、市民から排出された生ごみの管理をどのようにしていくか課題である。 ● 座長 他に質疑等ございませんか。 ● 委員 農業の方が資源化された肥料を利用するか伺いたい。 ● 委員 農家としては、香辛料や添加物等が生ごみには混入しているため、肥料化されたもの利用するのは難しい。 ● 座長 他に質疑等ございませんか。 ● 委員 施設については、処理能力、時間、処理コスト、用途、施設にかかる金額を調べてください。 ● 座長 委員からの質疑に対しての答弁をお願いいたします。 ● 事務局 今後施設等については、処理能力、処理コスト、金額等も資料として提出させていただきます。 ● 座長 特にないようですので、議題（3）の「その他」に入ります。事務局より何かありますか。
--	---

	<ul style="list-style-type: none">● 事務局 特にありません。 ● 座長 特にないようで、議題（3）の「その他」につきましては、終わらせていただきます。 以上で、本日の議題は、すべて終了いたしました。 次に、第5回ごみ資源化等市民懇談会の開催時期について事務局にお尋ねいたします。 ● 事務局 第5回のごみ資源化等市民懇談会は、1月21日から25日までに開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。 ● 座長 これをもちまして、第4回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会を閉会させていただきます。
--	---

